

# 公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

## URC資料室だより NO.91 平成28年3月

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館 6F tel:092-733-5707

福岡アジア都市研究所は、  
福岡市を中心に産学官が協力して  
設立した研究機関です

### 目次

#### ◆URC資料室ニュース

- ①平成27年度 第3回ミニセミナー開催報告・・・1
- ②資料室リニューアル中・・・・・・・・・・・・・1

#### ◆URCニュース

- ①平成27年度 第6回 都市セミナー開催予告・・・1

- ②市民研究員研究成果発表会開催予告・・・・・・・・・・・・・2

- ③平成27年度 第5回都市セミナー開催報告・・・・・・・・・・・・・2

- ◆福博：花まち研究会活動報告・・・・・・・・・・・・・3

- ◆マスコミでみるURCの今・・・・・・・・・・・・・4

- ◆「資料速報 平成28年2月受入分」 別添

### ◆URC資料室ニュース

#### ①平成27年度第3回ミニセミナー「日本の玄関、大陸の玄関：戦前福岡・釜山の都市政策」

##### を開催しました。

当研究所のミッションである都市について理解を深めていただくために、ミニセミナーを開催しました。

今回の講師、ハナ・シェパードさんの研究対象は、戦前の福岡市と対馬海峡を挟んだ釜山市の都市化過程に

ついてです。

ミニセミナーでは、当時の資料に基づいて、主に日本から見た釜山の位置づけについてお話していただきました。

当日は、当時

の資料の他に釜山と福岡を対比させた年表も配られました。

質疑応答では、多くの質問や意見をいただき、活発な議論が繰り広げられました。日本語での発表・質問への回答は、ハナさんにとっても大変だったようで、準備に多くの時間をかけられたそうです。それでも、多くの方に満足していただけたようで、アンケートの結果に喜んでいらっしゃいました。

多くのご参加、誠にありがとうございました。

写真出展：URC撮影  
(山崎三枝 司書)



#### ②都市政策資料室はリニューアルを行っています。

都市政策資料室は、交流スペース拡大のために、アジア各国コーナーを移動し、蔵書のコンパクト化を行っています。ただ廃棄するだけではなく、できるだけ公共図書館や大学図書館等、使っていただける機関にお譲りするよう心掛けています。最後は、利用者の皆様でご希望の方に差し上げる予定です。

作業中は、ご不自由をおかけすると思いますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

新しくなる資料室にご期待ください！

(山崎三枝 司書)

### ◆URCニュース

#### ①平成27年度第6回都市セミナー「グローバル人材活躍型都市形成に向けて」を開催します。

政府は 2015 年から『外国人材活躍推進プログラム』の実施により、国内企業等での就職を希望する、留学生をはじめとする外国人と、外国人の採用に興味・関心の

ある国内企業等を結び付ける仕組みの強化を推進しています。



留学生の個性を活かした交流の場の提供や、マッチングツールの一つとしての SNS 活用など、福岡における実

本年度 6 回目の都市セミナーは、そうした流れを踏まえながら、「グローバル人材活躍型都市形成に向けて」と題し、海外展開やインバウンドビジネスを志向する中小地場企業を対象に、

際の取り組みや経験談を通して、外国人の就職チャレンジ支援の可能性について理解を深めることを目的に開催いたします。

開催日時は 3 月 16 日水曜日 14:00~17:30、会場は福岡市役所 15 階 講堂です。内容や申込み方法等の詳細は、URC ホームページ、チラシ等をご覧ください。お申込みは 3 月 11 日金曜日、当研究所必着です。

事業者、留学生ほか、関心をお持ちの皆様のご参加を広くお待ちしております。

写真出展：第 6 回都市セミナーのチラシから  
(白浜康二 主任研究員)

## ②平成27年度 市民研究員研究成果発表会のお知らせ

昨年 7 月から約 9 か月間にわたり活動を続けてきた平成 27 年度市民研究員 6 名による研究成果発表会を行います。

今年度は「アジアの先進モデル都市・福岡のまちづくり」をテーマに、これまで月 2 回の定例会における議論や、個々による自主的な調査・研究、大牟田市への視察や中間報告会なども行い、大変充実した期間となりました。

市民研究員 6 名が、様々な視点から福岡のまちづくりについて、どのような報告を行うか、ぜひお聞きいただきたいと思っております。皆さんのお越しを心からお待ちしております。

なお、事前申込みが必要となりますので、下記「申込み方法」のとおりお願いします。

◆日時：平成 28 年 3 月 12 日 (土) 13:30~16:30 (開場 13:00)

◆会場：アクロス福岡 2 階 セミナー室 2 (福岡市中央区天神 1-1-1)

◆個別研究テーマ ※氏名五十音順。当日の発表順ではありません。

『福岡市における新たな宿泊サービス機能の拡充に関する研究』 伊東 克啓さん

『市民の知を支える市立図書館の在り方についての検討』 岩井 千華さん

『ミュージシャン・アーティストのまち・福岡形成戦略』 大澤 理宗さん

『多文化共生の実現に向けた地域の取り組み』 岡田 憲二郎さん

『先進モデル都市の実現に向けた諸問題への考察と提言』 河野 弘史さん

『中国マーケットへの展開方策に関する実践的研究』 平野 紘輝さん

### ◆申込み方法

下記を明記のうえ、E メール又は FAX にて、福岡アジア都市研究所までお申込み下さい。

(1) 「市民研究員発表会 (3 月 12 日)」参加希望

(2) 参加希望者の《氏名・ふりがな》《電話番号》《メールアドレス》

### ◆締切・定員

平成 28 年 3 月 8 日(火)まで (弊所必着) 定員 50 名 (申込み先着順) 参加無料

### ◆申込み・問合せ先

公益財団法人福岡アジア都市研究所 (担当：馬場)  
〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-1 福岡市役所北別館 6 階

TEL:(092)733-5687

FAX:(092)733-5680

E-mail:shimin@urc.or.jp

(馬場孝徳 調整係長)

## ③平成27年度 第5回都市セミナー (BODIKセミナー) 「データドリブン社会の到来」を

### 開催しました。

ICT (情報通信技術) が著しく進歩し、リアルタイムに莫大なデータが蓄積されていく中で、データの利活用も急速に進み、様々な領域で膨大に蓄積されたデータを利用し、現実の社会的課題を、コンピュータ上の仮想的な社会システムの中で解決するような動きも始まっています。こうした、データが社会を変えるイノベーションの主要因ともいわれる現在の状況について、理解・関心を深める一助となることを目的としたセミナー「データ

ドリブン社会の到来」を、2 月 22 日月曜日にアクロス福岡 円形ホールで開催しました。



(一社) オープン・コーポレイツ・ジャパン 常務理事 (当研究所 フェロー) の東 富彦氏による基調講演「地域の発展はデータが握る」では、国内外の事例紹介等を通じ、行政/企業/市民をデータが結び付け、積極活用することが域内外の発展に繋がる、との話がありました。次に、ビッグデータ・オープンデータ研究会 in 九州の



村上 和彰 代表の事例報告「オープンデータ×AI で地方を創生する！」では、様々な未来展望と、その端緒として、福岡市ほか自治体によるオープンデータ公開連携等が進みつつある現況紹介があり、続く当研究所 天野宏欣 フェローの事例報告「オープンイノベーションによる公共課題解決手法」では、福岡の例を含む公共課題解決において、オープンデータ活用と併せ、多用な主体の参加・協働の必要性を説きました。会場との質疑懇談も短時間ながら活発に行われ、データドリブン社会という近未来への関心・理解を深めていただけました。

なお、セミナー当日の資料は、近日、当研究所ホームページにアップする予定ですので、ご参照ください。

写真出展：URC撮影 (白浜康二 主任研究員)

### ◆福博：花まち研究会活動報告 現地視察を行いました。

平成27年11月11日午後、URCの外部の任意団体福博：花まち研究会は、メンバー9名で現地視察を行いました。



西南の杜花クラブの代表者の方にお話伺うメンバー

視察先は、西南の杜花クラブ花壇、エコガーデンと愉快的仲間たち花壇、福岡市植物園の3カ所でした。

西南の杜花クラブ花壇は、城南区の「西南杜の湖畔公園」敷地の公道に面した部分にある花壇です。公園そのものも広く整備されており、訪れる人も多いためです。花壇は公道に面しているため、道行く人を楽しませる格好の花壇となっています。道路沿いのかなり広い花壇であり、この広い花壇を維持管理するのは相当大変だと思いました。今年のチューリップは1500本とのこと。

維持管理は「西南杜の花クラブ」という団体10～15人程度の会員で、行っているようで、水掛、落葉清掃、除草、花がらつき等をほぼ毎週行っているそうです。

当日は団体の代表の方が待って居られて、説明をして戴きました。緑のまちづくり協会からの助成金では不足しており、周辺住民の寄付で賄っているとのこと、中には3万円を寄付する人もいたとのことでした。

活動の写真を大きなパネルにし、他の団体と共同で展示していると、実物を持って来られ見せてくださいまし

た。

当日は、丁度植え替えの時期で、見頃ではありませんでしたが、4月頃は見事な花壇であることが想像できます。公道に面した公園の一部を見事な花壇として維持管理し続けているのには驚きました。特に「あれだけ広い花壇を維持管理するのは並大抵ではない。」と思わせられました。

次に、「西南の杜花クラブ花壇」から歩いて行ける「エコガーデンと愉快的仲間たち花壇」に行きました。同じく城南区にある梅林緑地内にある数箇所の花壇です。

数箇所を合わせるとかなり広い花壇で、維持管理していくのは大変と思いました。会員数は35人程度ですが、実際に活動している方は15人程だそうです。

当日は、植え替えの時期でしたが、4月頃には見事な花壇になるようです。

こちらもやはり活動を1枚のパネルにして共同展示をしてもらっちゃいました。又、仕入れには努力されており、チューリップの球根を10円で購入したこともあるそうです。

この辺りは住宅地で、全体的に緑が多く、花壇の活動も活発でした。

最後は、福岡市植物園です。

はじめに事務所の会議室で約30分の説明を受け、約1時間園内を案内して戴きました。

動物園・植物園(共通券)の今年の年間入場者数は100万人を突破しそうです。

講座・教室・観察会は今年度45回開催されるそうで



エコガーデンと愉快的仲間たち花壇

すが、ハーブ、ハンギングバスケット（講師は吉原さんです）等が人気のようです。親子体験教室や、どんぐり工作など色々な企画をし、1回で大体20～50人位の参加があるそうです。

説明の後は、植物園は説明を受けながら観ていきましたが、説明があると随分違いました。多分、説明が無ければ気づかないことが沢山あったと思います。長い一本のつる、秋に咲く桜などがそうです。

園内は実にゆったりとした気分を味わえ、植物園を観察する他に、癒しの場としての効果がありそうです。バラ園を遠くから眺める椅子などはそうした目的で設置



バラ園に設置している椅子からの眺め

されています。

途中5～6人の外国人の団体に遭遇し、メンバーの一人の流暢な英語により、アメリ

カからの来訪者であることが分かったというエピソードがありました。

久方振りの植物園でしたが、極めてセラピー

としての効果があること、又、ガイドの有無では随分違うことが分かりました。自分一人でゆっくりと観ながら心を癒されるのもよし、説明を受けながら知って楽しむのもよし、植物園の良さを改めて知りましたが、「これまで馴染みが無かったのは何故だろう」と反省しました。

今回現地視察の企画、案内、段取り等を手配して下さった緑のまちづくり協会のメンバー、バスを用意して戴いたみどり推進課の方々、植物園を案内して下さった担当者の方に、心から御礼申し上げます。

写真出展：福博：花まち研究会撮影

(事務局長 藤原正教)



植物園担当者の方から説明を受けるメンバー

## ◆マスコミでみる「URC」の今！—最近1か月の情報を中心に—

### ◎新聞

(2016/2/25 西日本新聞 朝刊 28p)

九州経済 留学生の就職テーマにセミナー

URC H27 年度第6回都市セミナーの開催予告

(2016/2/18 西日本新聞 夕刊 9p)

情報 講演会 都市政策資料室ミニセミナー「日本の玄関、大陸の玄関 戦前福岡・釜山の都市政策」

URC 資料室 H27 年度第3回ミニセミナーの開催予告

(2016/2/16 西日本新聞 夕刊 9p)

留学生 就職も福岡で 総数全国2位 卒業後に流出 専門学校 地元企業の説明会 元留学生 サポート団体設立

柳基憲研究主査、OB クマル・ダルメンドラさんが代表を務める CIP の活動が、両氏のコメントと共に紹介される。

(2016/2/11 熊本日日新聞 朝刊 15p)

「かえっこ」各地で発展中 不要なおもちゃ→欲しいおもちゃ 子ども主体、地域交流にも一役

市民研究員 OB 藤浩志さんが考案したシステムが紹介される。(☆印=以下同じ)

(2016/2/6 日本経済新聞 朝刊 40p)

交遊抄 怪しい電話から

市民研究員 OB 藤浩志さんが執筆

(2016/2/4 下野新聞 26p)

「かえっこ」広がるにぎわい いらぬおもちゃ→ポイントで新しいおもちゃに 地域交流などにも ☆

(2016/1/16 リビング北九州 2p)

疲れた胃腸に世界のおかゆ

OBクマル・ダルメンドラさんがインドのおかゆキッチンリーを紹介

### ◎雑誌

(2016/2/25 Maekezine)

「仕事を意図的に“東京偏重にならない”ようにする」福岡に住む、元博報堂・田村大さんの場合 FDC・イノベーションスタジオ福岡の仕事を通じて福岡移住を決意

(2016/2/22 週刊ビル経営 第946号)

今の福岡を動かす取り組みは何か 隠れたビル需要を掘り出した起業家向けオフィス「シゴトバ」吉原住宅 市民研究員 OB 吉原勝己さんが執筆

### ◎テレビ

(2016/2/29 KBC 九州朝日放送 10:00～10:25)

アサデス。H&A半田 久留米の不動産情報に情報提供者半田兄弟の育ての親として、市民研究員 OB 吉原勝己さんが出演

(2016/2/20 KBC 九州朝日放送 9:30～11:25)

土曜もアサデス。福岡大研究「福岡移住～福岡編～」久保隆行上席主任研究員が出演 福岡への移住が増えた時期、開業率の高さ等を分析し、コメント

### ◎ラジオ

(2016/2/28 コミュニティラジオ天神 19:00～19:55)

大名セントラルパーク

URC OG 山下永子さんが出演 都市マーケティング等を語る。